

# 一般社団法人福岡県学校歯科医会 News Letter

FUKUOKA ASSOCIATION OF SCHOOL DENTISTS

## Vol.9

2020年4月発行

### CONTENTS

令和元年度歯・口の外傷及びマウスガード講習会	1
役員インタビュー（杉原会長）	2
「学校歯科医生涯研修制度」更新研修、基礎研修 併催 学校歯科医新任研修会	3
学校歯科医が進めるフッ化物洗口について	4
普及指導委員会紹介	5
令和2年度事業計画・一般会計予算	6
令和元年度臨時総会（第112回）、表彰関係	7
事業報告、編集後記	8

## 令和元年度 歯・口の外傷及びマウスガード講習会

柳迫専務理事による開会挨拶の後、普及指導担当の松本理事より外傷時の対応・処置、マウスガードの役割、作製法などの講義を行いました。例年よりも受講者数は少なめでしたが、講義後の熱意は例年以上で、多くの質問や補足説明のご提案を頂き、講義時間を少々延長してお話しました。

福岡県学校歯科医会 普及指導委員会では毎年、本講習会を実施しています。マウスガード未経験ながら興味をお持ちの先生方、どうやって作るのか？調整は難しいのか？技工所にどんな指示を出せばいいのか？など疑問点が多々あるのではと思います。まだ参加されていない先生方、是非一度参加されてはいかがでしょうか。



# 役員インタビュー（杉原会長）

広報委員会 委員長  
入江 祐彰

今回、県学歯の歴史の半分近く、40年以上会務に携わる杉原会長の特別インタビューをお届けします。誌面の都合上、割愛させて頂いたお話しも多々ありますが、会長の考えや人柄が伝わればよいと思います。

## 5期目を迎えて

従前と変わらぬ気持ちです。会長就任時の3つの目標で進んでいます。常任委員会に諮問をそれぞれ出して結果を提出する様お願いしています。

## 統計調査未提出校について

県の教育委員会とも協議をやってるんですけど、それぞれの学校の事情があって提出できないというのです。統計調査によって疾病の全体の流れというのがわかるので、我々の活動方針も決まるというのがあると思うんだよね。提出を協力して頂くために、我々も努力しなきゃいけないと思ってます。

## フッ化物洗口について

洗口によって、歯の健康に興味を持たせるという意味もあるんですよ。だから、意識づけというところが僕は効果が大きいと思うんですよ。洗口をして効果がどう出たかというのも統計調査で追求してますので、しっかり検証していかないとフッ化物洗口の意味がないと思いますね。

## 県学歯の事業内容を誤解して脱会した者に対して

会員が減っているということは、事業計画を立てる場合において収入・会費が少ないのは大変です。学校歯科医は報酬を頂いているんですから、その中の一部を拠出して運営に協力頂くというのが、当たり前なことだと考えるんですけどね。それが出来ないのは残念です。会員となって正しい情報を学校歯科医会からたくさん吸収し、子供たちの将来を自分が担っていくんだという自覚がないならば、学校歯科医を辞めてもらいたいと思いますね。

## 福岡市学校歯科医会との再統合について

私達は一緒に活動したいと思うんですけど、相手があつてのことですからね。色々検討はして福岡市学校歯科医会と何度も協議したんですが、なかなか上手くいかないですね。

## 趣味について

学生時代、ユニバーシアード東京大会文化写真展で世界の30点の中に入るくらいの実力はあったんですけど、今は全然やってないから、今はだめです。のんびりできる様になったらまた始めようかなと思ってます。立派な作品を目指します。

## 若い学校歯科医へのアドバイス

歳取るとね、子供たちが近寄ってこない（笑）。若い先生はどんどん学校に行つて、子供たちからエネルギーを貰いながら、学校の中に溶け込む学校歯科医になってもらいたいと思いますね。私達は教育者ですからね。



※このインタビューは1月25日に行われたものです。

# 「学校歯科医生涯研修制度」更新研修、基礎研修 併催 学校歯科医新任研修会

学術委員会 副委員長  
江口 明宏



## 更新研修

「教育関連法規の理解と改訂のポイントについて」  
1. 教育関連法規等と学校歯科保健について学ぼう  
2. その他

福岡県学校歯科医会 副会長 平瀬 久義

令和2年2月1日（土）福岡県歯科医師会館5階視聴覚教室において、新任の学校歯科医の先生方、まだ受講されていない学校歯科医の先生方を中心に基礎研修を開催した。また、平成29年度からの規定の改定に伴い、新たに「更新研修」を実施した。（本年度は、西地区・南地区の先生方が対象で、東地区・北地区の先生方は、来年度予定）

午後2時より、杉原瑛治会長の開会挨拶の後、更新研修を実施した。講演は平瀬久義副会長が行った。内容は、「教育関連法規の理解と改訂のポイントについて」で、5つのポイントに分けて話された。

- 1) 教育振興基本計画について：今後の教育政策に関する基本的な方針で、夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要な力を育成する事を目標とする。
- 2) 新学習指導要領について：[何ができるようになるか] [何を学ぶか] [どのように学ぶか] と3つの柱を基本とされており、学校歯科保健では、歯、口の健康に対して情報の収集能力を高めて、自律的な健康管理する能力を育成する事を目標とする。
- 3) 第2次学校安全の推進に関する計画について：学校保健安全法の改正により、学校管理下における児童生徒の事故に関して、発事件数を限りなくゼロとすることを目標とすると共に、障害や重度の負傷を伴う事故を減少傾向にすることを目標とする。
- 4) 第3次食育推進基本計画について：学校における歯科からの立場から食育支援に協力し、食育を通じた健康状態の改善等の推進を目標とする。
- 5) 第2期スポーツ基本計画について：学校体育活動中の事故等の情報提供や、事故防止に関する研修等を充実する事により、学校体育活動中における事故防止の取組を

推進し、マウスガードの着用の効果等の普及啓発を目標とする。

また、就学時健診の改定についても触れ、保健安全法の改訂を踏まえて、地域の医療機関との連携により、より積極的な管理・予防を促すことで、CO（要観察歯）を就学時健診時に導入するようになった事なども話した。

参加人数は79名で、研修終了後、修了証が授与された。

次に、午後3時45分から、「学校歯科医生涯研修制度」基礎研修 併催 学校歯科医新任研修会を実施した。

## 研修①

「学校歯科保健の概念を把握する」

福岡県学校歯科医会  
常務理事 松田 宏一

## 研修②

「学校歯科保健における保健教育を理解する」

福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課  
保健給食係指導主事 薄井 純一

## 研修③

「学校歯科保健における保健管理を理解する」

福岡市学校歯科医会  
理事 平塚 正雄

## 研修④

「学校歯科保健における組織活動を理解する」

福岡県学校歯科医会  
理事 白木 博繁

参加人数は53名で、研修終了後、（代診の先生による健診可否について等）熱のこもった質疑応答があった。

須ノ内茂子副会長の閉会の挨拶後、修了証が授与され、令和元年度「学校歯科医生涯研修制度」基礎研修 併催 学校歯科医新任研修会を終了した。参加された先生方には、今回の研修が今後の学校歯科保健指導、健診活動に役立てて頂ければ幸いです。



# 学校歯科医が進めるフッ化物洗口について

大川市立大野島小学校学校歯科医 今里 憲弘

私は大川三潯学校歯科医会会員の今里憲弘と申します。現在、福岡県歯科医師会の理事、地域保健部長に就任しています。

福岡県は平成25年3月、福岡県歯科口腔保健の推進に関する条例を制定しました。そこには基本的施策として「生涯にわたって科学的根拠に基づき行うむし歯予防」が記載されています。平成26年3月には福岡県歯科口腔保健推進計画（第1次）を策定し、科学的根拠に基づくむし歯予防として学童期の一人平均むし歯本数の減少を目標に、フッ化物洗口実施に向けた学童期むし歯予防推進事業（平成26～30年度）を始めました。

まずは県内3地区（糸島、遠賀、朝倉）でフッ化物洗口の普及啓発のための研修会を開催し、次に講習会を各教育事務所管内で開催しました。その内、粕屋地区の3市町では先行して5小学校がフッ化物洗口を開始しました。

その後、平成29～30年度には「学童期フッ化物洗口モデル事業」が開始され、県内6モデル小学校でフッ化物洗口が始まりました。その1校は大川市の道海島小学校でした。導入にあたり、大川市教育委員会、校長会、大川三潯学校歯科医会、大川三潯薬剤師会との協議会で合意を得ました。また教職員と保護者の説明会を開催し、保護者の同意を得てフッ化物洗口が開始されました。実施にあたり、県薬剤師会のご協力のもと洗口液の調剤、学校への配送などを道海島小学校学校薬剤師に担当していただきました。洗口液の希釈調製に不安を感じていた学校現場には受け入れやすいシステムとなりました。

令和元年度8月からはモデル事業から「学童期フッ化物洗口導入促進事業」となり洗口実施費は県と導入する市町村が二分の一を負担することになりました。

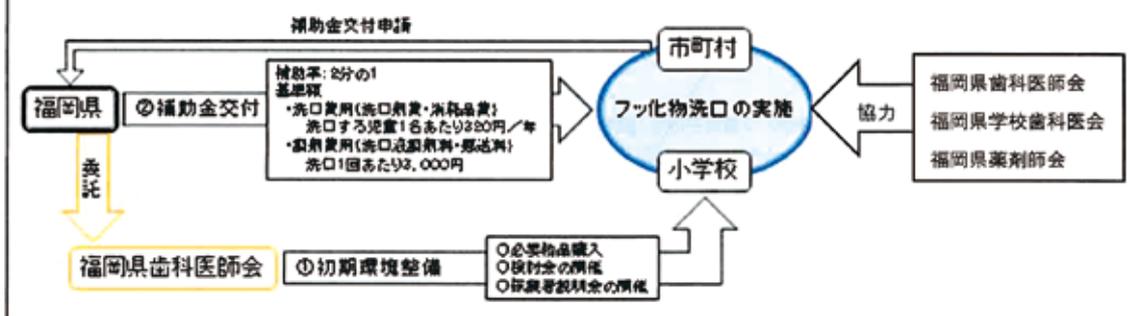
## フッ化物洗口普及に向けた取組み

### ○学童期フッ化物洗口導入促進事業（令和元年度～）

#### 洗口を実施する市町村・小学校への支援

（予算額：令和元年度6,044千円）

- ①洗口新規実施校の初期環境整備  
（県事業：県歯科医師会へ委託）
- ②洗口事業を実施する市町村への経費補助（補助率1/2）



大川市にはモデル校の道海島小学校を含み8校の小学校があります。令和2年度より全小学校でこの学童期フッ化物導入促進事業を開始することになりました。モデル事業においては学校薬剤師にフッ化物洗口剤（オラブリス洗口用顆粒11% 昭和薬品化工株式会社）の調製をお願いしましたが、導

入促進事業では各学校歯科医が洗口液の調製を担当することにしました。私が担当する大野島小学校では7月に保護者説明会を開催し、2学期からの開始を予定しています。2月開催の学校保健委員会では学校保健委員（保護者）から「安全に効果的なむし歯予防を学校でしていただけるのなら賛成です。」と意見があり、学校長もひと安心のようでした。

学校におけるフッ化物洗口実施は、学校保健安全法の中の「保健管理」に位置づけられると整理されています。学校保健は保健教育、保健管理、組織活動の3本柱で運用されており、フッ化物洗口は学校医、学校歯科医、学校薬剤師の非常勤専門職員が関わる保健管理に位置づけられています。大川市のフッ化物洗口は学校歯科医が主体的に関わる「保健管理」として実施します。安全な実施とエビデンスに基づくう蝕予防効果の評価は学校歯科医の責務と考えます。大川市のフッ化物洗口事業が成果を出して、九州各県のように福岡県でもフッ化物洗口事業が広がっていくことを期待しています。

## 普及指導委員会紹介



理事  
松本 武  
(飯 塚)



委員長  
菅 義浩  
(田 川)



副委員長  
田村 昌彦  
(浮 羽)



委員  
後野 嘉之  
(飯 塚)

令和元年6月より、福岡県学校歯科医会 普及指導委員会は新体制となりました。

前年度までの6名体制から4名と少数精鋭にて執務を執行しております。

今年度は前年からの継続事項であった外傷ハンドブックの改定を中心に委員会を開催しました。

松本理事を中心に、各委員が様々な資料を持ち寄り、様々な意見を交わしながら、より見やすく、より簡素にをモットーに編集した外傷ハンドブック第3版を作成いたしました。

令和2年度の事業計画として

- (1) 学校歯科保健事業に関する普及指導
- (2) 加盟団体の指導啓発事業への協力
- (3) スポーツ歯学（マウスガード等）についての研修会の開催
- (4) 「学童期むし歯予防推進事業」への協力
- (5) 学校歯科健康診断IT化の促進

上記5項目に付随して、新たな普及指導に係る出版物を検討しています。

また、例年1月に開催しているマウスガード講習会ですが、ある程度マウスガードが一般に普及してきている現状を考慮し、より発展的改良を目的とした講義、実習内容の改変、外部講師の招聘などを検討していく予定です。

今後も福岡県学校歯科医会会員、及び学校歯科保健に係る全ての方々の一助となるよう普及指導委員一同、努力していく所存です。



普及指導委員会 委員長 菅 義弘

# 令和2年度 福岡県学校歯科医会 事業計画

## 1. 事業

- (1) 学校歯科保健に関する調査研究
  - 1) 歯科健康診断統計調査の推進・活用
  - 2) 私立学校における歯科保健活動の調査研究
- (2) 学校歯科保健に関する普及啓発
  - 1) 生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業
  - 2) よい歯の学校表彰及び学校歯科医表彰
  - 3) 全日本学校歯科保健優良校表彰応募校の審査・推薦
  - 4) 歯・口の健康に関する図画・ポスターの募集（審査・表彰）
  - 5) 歯・口の健康啓発標語の募集（審査・表彰）
  - 6) 加盟団体の学校歯科保健事業へ協力
  - 7) 歯科健康診断方法の普及・指導
- (3) 学校歯科保健に関する研修会、研究発表等の開催
  - 1) 第25回福岡県学校歯科保健研究大会の開催
  - 2) 歯・口の健康づくり推進協議会の開催
  - 3) 福岡県学校歯科医研修会の開催
  - 4) 基礎研修及び更新研修の開催
  - 5) スポーツ歯学に関する研修（マウスガード等）
  - 6) 令和2年度九州地区学校歯科医会役員連絡協議会の開催
  - 7) その他必要な研修事業
- (4) 学校歯科保健関係者に対する指導助言
  - 1) 「学童期むし歯予防推進事業」への協力
  - 2) 学校歯科保健関係者への指導・助言・協力
  - 3) 実務担当者会議の開催
  - 4) 加盟団体への時局講演
- (5) 学校歯科医に関する調査
- (6) 学校歯科保健行政に対する協力
  - 1) 学校歯科保健教育に関して行政へ協力
- (7) 機関紙及び刊行物の発行
  - 1) 会報・特集号（図画・ポスター・標語）の作成
  - 2) ニュースレターの発行
  - 3) 広報活動の推進
- (8) 本会に顕著な業績のあった者及び団体を推挙又は表彰
- (9) その他目的を達成するために必要な事業

- 1) 令和2年度全国学校保健・安全研究大会への参加研修（富山県富山市）
- 2) 第70回全国学校歯科医協議会への参加研修（富山県富山市）
- 3) 第84回全国学校歯科保健研究大会への参加研修（福井県福井市）
- 4) 第18回九州地区健康教育研究大会への参加研修（福岡県福岡市）

## 2. 助成関係

- (1) 加盟団体関係事業への助成

## 3. 福岡県学校歯科医会運営の充実

- (1) 日本学校歯科医会・福岡県学校保健会・福岡県歯科医師会、その他関係諸団体との連携
- (2) 加盟団体との連携
- (3) 制度並びに組織機構の整備と充実（内規を含めた規則の見直し）
- (4) その他本会目的達成のための事業

## 4. 常任委員会活動

### ★学術委員会

- (1) 福岡県学校歯科保健研究大会の企画、運営
- (2) 福岡県学校歯科医研修会の企画、運営（新任研修、基礎研修、更新研修）
- (3) 学校歯科保健活動のための資料収集、作成

### ★普及指導委員会

- (1) 学校歯科保健事業に関する普及指導
- (2) 加盟団体の指導啓発事業への協力
- (3) スポーツ歯学（マウスガード等）についての研修会の開催
- (4) 「学童期むし歯予防推進事業」への協力
- (5) 学校歯科健康診断IT化の促進

### ★統計調査委員会

- (1) 歯科健康診断統計調査報告書の作成
- (2) 健康診断結果の分析と対策
- (3) よい歯の学校表彰推薦校の選出

### ★広報委員会

- (1) 県学歯会報の発行
- (2) ニュースレターの発行
- (3) 図画・ポスター・標語特集号の発行
- (4) ホームページの更新
- (5) 対外的広報活動の実施
  - ① 県学歯事業に関すること
  - ② 加盟団体、各種大会に関すること
  - ③ 関係諸団体、各種大会に関すること
- (6) 周年事業の為の資料収集・整理

## 令和2年度 一般会計予算

収入予算額  
31,983,000円

---

支出予算額  
31,983,000円

---

差引額  
0円

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
<b>I. 事業活動収支の部</b>			
1. 事業活動収入			
事業活動収入計	31,983,000	32,063,000	△80,000
2. 事業活動支出			
会議費	3,840,000	4,120,000	△280,000
事業費支出	11,060,000	10,400,000	660,000
事務費支出	13,490,000	14,800,000	△1,310,000
事務所費	2,200,000	2,200,000	
負担金	200,000	200,000	
他会計への繰入金支出	290,000	279,000	
事業活動支出計	31,080,000	31,999,000	△919,000
事業活動収支差額	903,000	64,000	839,000
<b>II. 投資活動収支の部</b>			
1. 投資活動収入	0	0	0
2. 投資活動支出	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
<b>III. 財務活動収支の部</b>			
1. 財務活動収入	0	0	0
2. 財務活動支出	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
<b>IV. 予備費支出</b>	903,000	64,000	839,000
当期収支差額	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	0	0	0

1. 点呼 代議員31名中30名出席
2. 開会 副会長 平瀬 久義
3. 会長挨拶 会長 杉原 瑛治
4. 物故会員の弔慰
5. 令和元年度表彰
  - (1) 会長表彰
  - (2) 会員表彰
  - (3) 特別表彰
  - (4) 功労者表彰
  - (5) 団体表彰
  - (6) 褒賞状授与
6. 議事録署名人の指名
 

議長	田中 敏治	(飯塚)
西地区	赤間 伸	(宗像)
南地区	古賀 祥朗	(朝倉)
7. 報告
  - (1) 会務報告 専務理事 柳 迫 正 俊
  - (2) 会計現況報告 常務理事 松 田 宏 一
  - (3) 監査報告 監 事 三 箇 正 人
8. 決議事項
 

第1号議案	顧問の委嘱について	可決
第2号議案	令和2年度事業計画について	可決
第3号議案	令和2年度一般会計予算について	可決
第4号議案	令和2年度基本財産積立金特別会計予算について	可決
第5号議案	令和2年度職員退職積立金特別会計予算について	可決
第6号議案	令和2年度福岡県学校歯科医会会費・賦課徴収及び日本学校歯科医会会費賦課徴収について	可決
9. 協議
10. 閉会

令和元年度

## 表彰おめでとうございます

### 福岡県教育文化表彰

期日：令和2年2月15日(土)

場所：福岡リーセントホテル



中島 泰之  
(大川三瀬)

### 一般社団法人 日本学校歯科医会会長表彰

日時：令和2年3月25日(水) 場所：日本歯科医師会館 1階大ホール



中畑 巧  
(田川)



松崎 正誠  
(筑紫)



篠崎 利治  
(朝倉)



島添 武雄  
(朝倉)



菅 英雄  
(八幡)



日高 雄一  
(遠賀中間)

### 一般社団法人 福岡県学校歯科医会表彰者名簿

日時：令和2年3月14日(土)

場所：福岡県歯科医師会館5階大ホール



永末天(田川)吉成正典(直方)林英明(宗像)梶原健(粕屋)
林亮子(粕屋)福井恵子(粕屋)内田彰一郎(筑紫)山口博文(筑紫)
増田純二(筑紫)篠崎正嘉(朝倉)豊原賢一(朝倉)小坪義博(久留米)
佐藤邦彦(久留米)永尾禮二(久留米)東春男(久留米)大田実(小倉)
曾我富美雄(小倉)蟬木健(八幡)



神齊藤俊昭(京都市)溝口英司(京都市)
高橋武利(筑紫)小嶋卓也(朝倉)
木屋知宏(筑紫)村岡隆朗(八女筑後)
香月大二郎(八女筑後)久保田端賢一(門司)
郷原徳明(八女筑後)川端神崎伸一(小倉)
中原淳(門司)
小西幸治(八幡)



◎叙勲 瑞宝双光章  
井手口 盡(京都)  
須ノ内 茂子(宗像)



◎文部科学大臣表彰  
柳 迫 正 俊 (八女筑後)

小倉歯科医師会

## 公 告

### 令和2年度 定時総会（第113回）

日時 令和2年6月13日（土）午後3時00分

場所 福岡県歯科医師会館 5階 中ホール

#### 訂正とお詫び

ニュースレター8号に掲載しておりました学校歯科医の表彰につきまして、誤りがありました。

1. 叙勲の1)春秋叙勲、2)高齢者叙勲につきまして次のように訂正いたします。申し訳ございませんでした。

##### 1. 叙勲

##### 1) 春秋叙勲

70歳以上であり、次のいずれかの条件を満たす者

(1) スポーツ、学校保健、学校安全、学校給食及び青少年教育の分野において国の発展に貢献し、あるいは社会公共の福祉の環境に寄与したと認められる者で、関係団体役職歴が概ね20年以上の者。

(2) 学校歯科医にあつては、業務歴が40年以上の者。

##### 2) 高齢者叙勲

春秋叙勲の対象となる条件を備えていながら、様々な事情で叙勲受けられなかった者で、発令日(1日)の前月及び当日に88歳になる者。

広報担当理事 白木 博繁

## 事業報告

## 研究・研修事業

### 歯・口の外傷及びマウスガード講習会

日 時 令和2年1月18日(土)15:00~17:00

場 所 福岡県歯科医師会館 4階 404研修室

参加者 会員 1名、会員外 4名

### 「学校歯科医生涯研修制度」更新研修

日 時 令和2年2月1日(土)14:00~15:30

会 場 福岡県歯科医師会館 5階 視聴覚教室

受講者 79名

講 義 「教育関連法規の理解と改訂のポイントについて」

1. 教育関連法規等と学校歯科保健について学ぼう

2. その他

福岡県学校歯科医会副会長 平瀬 久義

### 「学校歯科医生涯研修制度」基礎研修 併催 福岡県学校歯科医新任研修会

日 時 令和2年2月1日(土)15:45~18:55

会 場 福岡県歯科医師会館 5階 視聴覚教室

受講者 53名

研修内容

研修1 「学校歯科保健の概念を把握する」

福岡県学校歯科医会常務理事 松田 宏一

研修2 「学校歯科保健における保健教育を理解する」

福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課

保健給食係指導主事 薄井 純一

研修3 「学校歯科保健における保健管理を理解する」

福岡市学校歯科医会理事 平塚 正雄

研修4 「学校歯科保健における組織活動を理解する」

福岡県学校歯科医会理事 白木 博繁



新型コロナウイルス。テレビを含め多くのメディアでは多くの専門家が登場し、様々な意見や自論を展開し、多くの国民は翻弄された。

このような事象は福島での原発事故の際にも見受けられた。不確定なことを想像して、あたかも事実の様に発信し、それが拡散してしまう事となり、その事による偏見や風評被害は現在も続いている。

今回、全く新しい感染症に対し、歯科医師として、学校歯科医としてどの様な行動をとるべきか、多くのことを考えさせられた。

私は判断に迷う時は、ヒポクラテスの誓いを何回も読む事している。冷静になって、原点に戻ることは大切だと感じた。

広報委員会 理事 白木 博繁

## News Letter

Vol.9

毎年3回発行

発行人 杉原 瑛治

発行所 〒810-0041  
福岡市中央区大名1丁目12-43  
福岡県学校歯科医会内  
TEL 092-714-4627 FAX 092-714-7599  
E-mail k-gakusi@alpha.ocn.ne.jp  
U R L http://www.fk-gakusi.jp

印刷所 〒812-0065  
福岡市東区二又瀬新町12-29  
株式会社印刷センター  
TEL 092-611-3118 FAX 092-629-2715